

2008 学生募集要項

宮崎農大で
いつしょに
勉強して
みらんね。



Miyazaki Prefectural Agricultural Academy
宮崎県立農業大学校

スケールの大きな教育環境が君の夢の実現に必ずフィットします

農産 学科

- 水稲畑作経営コース
- 茶業経営コース

● 共通科目

植物生理、植物育種、植物病理、応用昆虫、農薬利用、生物工学Ⅰ

● 水稲畑作経営コース科目

水稻栽培、稻作・畑作機械施設、稻作・畑作経営、畑作物栽培、畑作物流通加工、プロジェクト学習

● 茶業経営コース科目

茶栽培、茶業経営、茶加工流通、プロジェクト学習



プロジェクト



基礎理論から最先端領域まで

創造的なプロジェクト活動により、生産技術と経営能力を高め、農業経営者としての能力を身につけていきます。

水稻・大豆等普通作物と露地野菜、たばこ、茶の栽培・加工についての理論と実践の学習



Message from Student

【水稻畑作経営コース】

落合 鮎美
Ayumi Ochiai

水稻畑作経営コースでは、水稻及び露地野菜等の畑作物から、数種類ずつ担当作物を決めて栽培しています。

私は、水稻、黒大豆、落花生を担当しました。

気象災害にあい、農業の厳しさに直面しましたが、収穫の喜びは格別で、農業の楽しさも実感できました。

私達にとって、欠かすことのできない「命」を支える農業の担い手として、一步ずつ前進していきたいと思います。

図書室



知識と情報を自分のものに

専門書から教養書まで豊富な図書を収蔵し、学生が自由に閲覧できます。

情報処理室



国際競争力を身につける情報処理を学ぶ

最新の機種をそろえ情報処理の基礎演習から経営分析、プロジェクトのまとめ、インターネットによる情報収集・発信教育を行います。

畜産学科

- 酪農経営コース
- 肉用牛経営コース

● 共通科目

家畜栄養、家畜飼養管理、家畜育種、家畜解剖衛生、家畜繁殖、飼料作物、畜産概論、受精卵移植、畜産流通加工

● 酪農経営コース科目

乳牛飼養管理、酪農経営、プロジェクト学習

● 肉用牛経営コース科目

肉用牛飼養管理、肉用牛経営、プロジェクト学習



高度先端技術を活用した酪農(乳肉一貫経営、乳雄・F1肥育牛経営)及び肉用牛経営についての理論と実践の学習



Message from Student

[肉用牛経営コース]

甲斐 旨樹
Muneki Kai

自分は将来、兼業農家である我が家を継ごうと思い、この県立農業大学校に入学しました。我が家では、繁殖牛や水田などがあります。それを将来専業農家にし、自分が所属している肉用牛経営コースで学んだ事を活かして将来は、繁殖牛30頭を目標としています。そしてこれからも、座学や実習を通してさまざまな事を学んでいきたいと思います。

サークル



豊かな個性を身につける

●運動クラブ／野球、サッカー、バスケット、バレーパドミントン、テニスなど

●文化クラブ／華道、茶道、太鼓、ボランティアなど

寮生活



地域リーダーとしての社会性を身につける

全寮制による共同生活や自治会活動を通じて将来の地域リーダーとしての指導力を養います。

行事



充実したキャンパスライフを送るために

農大祭をはじめとして、探訪会、田植え、球技大会、プロジェクト発表会などの校内行事のほか、先進農家研修、海外農業体験研修など盛りだくさんです。

全寮制により、急速に変化する社会情勢に対応できる幅広い視野を持ち、高度な技術と経営能力を備えた農業経営者及び地域農業を先導する農業指導者の育成を行い、本県農業の振興、発展に寄与しうる優秀な人材を養成する。

園芸 学科

- 野菜経営コース
- 花き経営コース
- 果樹経営コース

●共通科目

植物生理、植物育種、植物病理、応用昆虫、農薬利用、園芸概論、野菜総論、花き総論、果樹総論、園芸施設、園芸流通、園芸行政、生物工学I

●野菜経営コース科目

野菜栽培、野菜経営、野菜加工、プロジェクト学習

●花き経営コース科目

花き栽培、花き経営、フラワーデザイン、プロジェクト学習

●果樹経営コース科目

果樹栽培、果樹経営、果樹加工、プロジェクト学習



最先端の園芸施設を活用して、施設野菜・花き・果樹栽培についての理論と実践の学習



Message from Student

【野菜経営コース】

中竹 礼奈
Rena Nakatake

野菜コースでは、各自が担当ハウスを持ち、播種から収穫まで全ての管理・作業を自分で行います。私は、プロジェクトでミニトマトを栽培しています。自分で課題を決め、調査や栽培管理を責任を持って取り組んでいます。友達もたくさんでき、プロジェクトや寮生活などで助け合いながら、毎日充実した日々を送ることができます。将来は、ここで出会った、たくさんの人たちと一緒に宮崎の農業を支えていきます。

Campus Life



《平成20年度学科募集》

学 科	コ ー ス	募 集 人 員	修 業 年 限
農産学科	水稻畑作経営・茶業経営	15人	
園芸学科	野菜経営・花き経営・果樹経営	25人	
畜産学科	酪農経営・肉用牛経営	25人	

(推薦入学は定員のおおむね50%)

推薦入学者の募集

●受験期日 平成19年10月19日(金)

●受験資格

- (1)県内の高等学校を平成20年3月卒業見込みの者
- (2)本校への入学が確実な者
- (3)卒業後、県内において確実に農業に従事し(研修後を含む)、かつ地域農業の振興に尽くす意志の強固な者
- (4)人物及び学業成績が優れ(調査書の評定平均3.5以上)高等学校長が推薦する者

●受験手続き

(1)出願書類

- ア. 入学願書 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
- イ. 高等学校の調査書(進学用)
- ウ. 高等学校長の推薦書(本校所定のもの)
- エ. 営農計画書(本校所定のもので就農予定の市町村長の所見の記載のあるもの)
- オ. 受験票 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
- カ. 入学試験手数料については、2,200円分の宮崎県収入証紙を貼付すること
- キ. 受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通
返信用封筒については、430円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と470円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)

一般入学者の募集

●受験期日 平成19年12月14日(金)

●受験資格

- (1)高等学校を卒業した者及び平成20年3月卒業見込みの者
- (2)学校教育法第56条の規定により大学に入学することのできる者

●受験手続き

(1)出願書類

- ア. 入学願書 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
- イ. 高等学校の調査書(進学用)又は大学入学資格検定合格証書の写し
- ウ. 健康診断書 過年度卒業生のみ必要(3か月以内に発行されたもの)
- エ. 受験票 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
- オ. 入学試験手数料については、2,200円分の宮崎県収入証紙を貼付すること
- カ. 受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通
返信用封筒については、430円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と470円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)

■学科在学中の経費(2年間)

教材・教具・実習服・制服等	20万円 程度
海外農業体験研修費	30万円 程度
傷害保険料・損害保険料	4万円 程度
自治会費・後援会費	12万円 程度
卒業アルバム代	2万円 程度
寮電気料・共益費	6万円 程度
寮食費	46万円 程度
計	120万円 程度

※経費の納入方法

- 1年次分／54万円程度(2回に分けて納入)
- 2年次分／66万円程度(2回に分けて納入)

※その他に必要な経費が生じた場合は別途徴収する。

卒業後即就農する者は、(財)宮崎県農業振興公社から就農研修資金(無利子)を借り受けることができる。
(月額50,000円以内。定数枠あり)

■資格及び特典

学科を卒業した者は、「宮崎県農業士」の称号を授与する。

在学中に取得可能な資格等

大型特殊及びけん引免許(農耕用)、農業機械士、危険物取扱者、毒物劇物取扱責任者、家畜人工授精師、2級認定牛削蹄師、大型特殊(農耕用)免許の限定解除可、車輛系建設機械運転技能講習及びフォークリフト運転技能講習受講可

●願書受付期間 平成19年9月18日(火)～9月28日(金)

(土曜日・日曜日を除く)なお、郵送の場合は当日消印有効

●試験方法及び科目 (1)筆記試験 数学Ⅰ、小論文

(2)面接試験

●試験場所及び書類提出先 宮崎県立農業大学校まで

●合格発表 平成19年11月1日(木)

午前9時本校玄関前に掲示するとともに、本人宛に通知する。あわせて、本校ホームページ上に掲載する。

●入学試験手数料 2,200円(宮崎県収入証紙を貼付)

●入学料及び授業料

平成20年度入学者は入学料5,650円になります。

また、授業料は平成20年度に117,600円(年額)、平成21年度に118,800円(年額)になります。



●願書受付期間 平成19年11月12日(月)～11月22日(木)

(土曜日・日曜日を除く)なお、郵送の場合は当日消印有効

●試験方法及び科目

(1)筆記試験 ア. 必須科目 国語総合(古典を除く、作文を含む)、数学Ⅰ

イ. 選択科目 作物、園芸(野菜、花き、果樹)、畜産、生物Ⅰ、化学Ⅰから1科目選択

(2)面接試験

●試験場所及び書類提出先 宮崎県立農業大学校まで

●合格発表 平成19年12月27日(木)

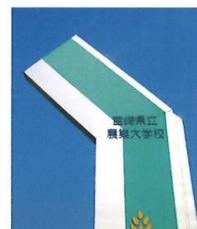
午前9時本校玄関前に掲示するとともに、本人宛に通知する。あわせて、本校ホームページ上に掲載する。

●入学試験手数料 2,200円(宮崎県収入証紙を貼付)

●入学料及び授業料

平成20年度入学者は入学料5,650円になります。

また、授業料は平成20年度に117,600円(年額)、平成21年度に118,800円(年額)になります。



《平成20年度専攻科募集》

学 科	コ ー ス	募 集 人 員	修 業 年 限
専 攻 科	農産・園芸・畜産	2年課程10名以内 1年課程若干名	2年又は 1年

●受験期日 平成19年12月14日(金)

●受験資格

- (1)各県農業大学校の学科を卒業した者及び平成20年3月卒業見込みの者
- (2)学校教育法に基づく短期大学において農業を専修する学科若しくはこれに相当する課程を卒業した者及び平成20年3月卒業見込みの者
- (3)知事が農業に関して短期大学卒業者と同等以上の学力を有すると認めた者

●受験手続き

(1)出願書類

- ア.入学願書 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
- イ.卒業(見込み)証明書又は受験資格証明書
- ウ.成績証明書
- エ.健康診断書 3か月以内に発行されたもの
- オ.受験票 本校所定のもの
(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入)
- カ.入学試験手数料については、2,200円分の宮崎県収入証紙を貼付すること
- キ.受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通(本校在学生は不要)返信用封筒については、430円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と470円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)

●願書受付期間 平成19年11月12日(月)～11月22日(木)
(土曜日・日曜日を除く)なお、郵送の場合は当日消印有効

●試験方法及び科目

- (1)筆記試験 ア.必須科目 農業概論(農業技術概論、農政事情、農業経営、生活経営)、一般教養
イ.選択科目 作物学、園芸学、畜产学から1科目選択
- (2)面接試験

■専攻科の目標

- (1)県・市町村及びJA等農業団体における地域農業のリーダー的指導者の育成
- (2)農業法人等組織経営体の中核的農業者の養成

●試験場所及び書類提出先 宮崎県立農業大学校まで

●合格発表 平成19年12月27日(木)

午前9時本校玄関前に掲示するとともに、本人宛て通知する。あわせて、本校ホームページ上に掲載する。

●入学試験手数料 2,200円(宮崎県収入証紙を貼付)

●入学料及び授業料

平成20年度入学者は入学料5,650円になります。
また、授業料は平成20年度に117,600円(年額)、平成21年度に118,800円(年額)になります。

■授業科目の概要

講義:一般教養科目 7科目
(生物学、化学、地域農業マネジメント論、数学、英語等)
専門共通科目 20科目
(農業指導論、農業法人実務、農業経営学、農業税務論等)
農産・園芸コース専門科目 13科目
(農業情報処理、植物病理学Ⅱ、応用昆虫学Ⅱ、植物病理学等)
畜産コース専門科目 9科目
(食の安全論、畜産環境保全論、家畜生理学、家畜育種学等)
実習:農業指導実習(1.5ヶ月)、農畜産物流演習(1.5ヶ月)、作物栽培・園芸学・畜産演習(4ヶ月)等

■専攻科在学中の経費(2年間)

	〈入寮者〉	〈通学者〉
教材・教具等	9万円 程度	9万円 程度
傷害保険料・損害保険料	4万円 程度	4万円 程度
自治会費・後援会費	11万円 程度	11万円 程度
寮電気料・共益費	6万円 程度	1万円 程度
寮食費	44万円 程度	18万円 程度
計	74万円 程度	43万円 程度

※その他に必要な経費が生じた場合は別途徴収する。

●ACCESS●

●JR日豊本線……高鍋駅下車 北へ8km

●バス ……宮崎交通バス

高鍋営業所経由

都農または日向行農業大学校前下車

●タクシー ……高鍋駅より約15分



受験手続き等のお問い合わせ先

宮崎県立農業大学校 教務まで

〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田5733番地 TEL(0983)23-0120 FAX(0983)22-2529

<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/nousei/einou/noudai/02/index.html>